

糖尿病性腎症重症化予防プログラムの運用に関するアンケート調査（保健福祉事務所）集計結果(概要版)

1. 調査の概要

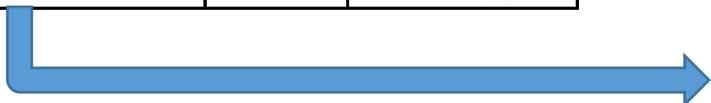
- (1) 目的：現行のプログラムの運用状況とその評価等を把握する
- (2) 調査対象：県内6保健福祉事務所（回収率100%）
- (3) 調査方法：かんたん申請・申込システム
- (4) 調査期間：令和6年5月20日～令和6年6月7日

2. 調査結果

(1) 現在の管内の市町村の支援状況

市町村巡回指導	3	保健福祉事務所
連絡会議の実施	5	保健福祉事務所
研修会の実施	3	保健福祉事務所
その他	4	保健福祉事務所

管内市町村の課題の把握・分析・評価に関する相談
管内市町村と医療機関の様式統一に係る連絡調整
管内各医師会（3医師会）との打合せ
重症化予防協議会評価会の開催（管内市町村の重症化予防プログラム評価のためのデータの集約、課題の整理、専門医・専門職からの助言）
統一プログラム検討会の実施
事例検討会



(2) 管内における圏域のプログラムの有無

圏域プログラム有	5	保健福祉事務所
----------	---	---------

(3) 圏域でのプログラム運用における課題

管内の全医療機関の協力が得られていない。
被災市町村は県内全域に対象者がおり、他地域の医師会との調整が必要。
郡市医師会ごとにプログラムを作成している。しかし、対象者の受診先は、広域の医療機関になるため、各医師会との調整等に時間がかかる。
連携パス活用の医療機関が固定化（パスのネットワークに加入していても、活用していない医療機関もある。）

(4) かかりつけ医→管内の市町村への保健指導の依頼はスムーズに行われているか

はい	2	保健福祉事務所
いいえ	2	保健福祉事務所
不明	2	保健福祉事務所

(5) かかりつけ医→管内の市町村への保健指導の依頼の課題

医療機関からの発信での保健指導は少数おこなわれているものの、実態は未把握。
かかりつけ医から「保健指導必要なし」での返答が多い。

(6) 管内の市町村においてかかりつけ医→専門医の連携はスムーズに行われているか

はい	1	保健福祉事務所
いいえ	4	保健福祉事務所
不明	1	保健福祉事務所

(7) 管内の市町村のかかりつけ医→専門医の連携の課題

かかりつけ医のプログラムに対する考え方の違い、理解不足があり市町村担当者が苦慮している。
対象者本人が専門医に受診に対する理解不足やこだわりがあり受診につながらない場合がある。
専門医が少ないためかかりつけ医からの紹介先が集中。

(8) 管内の市町村における人材育成等の課題

マンパワー不足に対して支援の困難さを感じる
各市町村で保健師を募集しても申し込みがなく、人員が確保できないという町村もある。
専門職の世代交代により、保健師や管理栄養士等は新任期が多く、経験年数や知識・指導技術にばらつきがでてきている。

(9) 県のプログラム改定に関するご意見・ご要望

地域的に当該医師会以外への医療機関受診も多いことからそれ以外の医師会での受診の場合でも連絡票のやりとりがスムーズに行われるよう県で一括した広域的な周知の要望が多くあるため、プログラムに盛り込んでいただきたい。
圏域外の医療機関に通院する方もいることから、県内統一した対応ができるよう調整をお願いしたい。
県プログラムの改定内容を踏まえ、令和7年度から市町村プログラムを改定し取り組みたいとする市町村があることから、3月末より早い時期に情報提供、公表等をお願いしたい。